

京都市立芸術大学美術学部履修規程

(平成24年4月1日理事長決定)

(平成28年10月24日一部改正)

(令和5年3月17日一部改正)

(令和7年3月26日一部改正)

(令和8年3月31日一部改正)

(目的)

第1条 この規程は、学則第33条、34条、35条及び36条に定める科目の履修並びに単位の認定に関し規定することを目的とする。

第2条 授業の方法は、学則第30条の規定にもとづき講義、演習、実験、実習及び実技のいずれかにより、又はこれらの併用により行う。

第3条 履修すべき授業科目は、必修科目、選択科目及び自由選択科目とする。

(単位の算定)

第4条 単位の算定基準は、学則第31条の規定に基づいて行う。

(授業科目)

第5条 授業科目は学則第32条に規定する別表第2、別表第4及び別表第6にもとづき編成し、年度開設授業科目はその年度の始めに公示するものとする。

(履修方法)

第6条 各科目の履修方法は、別表第1、別表第2及び別表第3のとおりとする。

(出席)

第7条 科目の履修にあたっては、原則として授業回数の3分の2以上の出席を必要とする。

2 公欠の取扱いについて、必要な事項は別に定める。

(科目の届出)

第8条 学生は、本学の定める期間に、所定の手続きにより学期の履修希望科目を登録しなければならない。この手続きを経ない科目の履修は認めない。なお、科目履修の中止を希望するときは、本学の定める期間に所定の手続きにより登録を削除するものとする。

(履修制限)

第9条 授業は都合により定員を予告し、また履修人員を制限することがある。

第10条 特に指定する場合のほか、同一時間に1科目を超えて履修することはできない。

(評価基準)

第11条 成績の評価は、履修期間中の平常成績、出席状況、試験成績（論文または作品審査による成績を含む。）等を考慮して行う。

(評点)

第12条 成績の評価は、AA（90～100点）、A（80～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（59点以下）とし、AA・A・B・Cを合格とする。

(試験)

第13条 試験は、学期末に行うことを原則とする。ただし、必要に応じ、適時これを行うことがある。

第14条 不合格科目の再試験は行わない。

第15条 正当の理由により試験に欠席した者が、所定の様式によって願い出たときは見込点または追試験により評点を与えることがある。ただし、見込点または追試験による評点は減点することがある。

(科目の修了、単位の認定)

第16条 合格科目に対しては、その修了を認め、所定の単位を与える。

第17条 科目単位の分割認定は原則として行わない。

第18条 入学以前に履修した科目及び修得した単位の認定については、次の範囲内で行うことができる。

- (1) 本学の基礎講義科目に相当する科目16単位まで、ただし自由選択科目とする。
- (2) 外国語科目4単位まで
- (3) 保健体育科目2単位まで

なお、この認定は、教務委員会の議を経て行うものとする。

第19条 在学中、本学音楽学部並びに他大学において履修した科目及び修得した単位の認定については、次の範囲内で行うことができる。

- (1) 学科目の自由選択範囲として12単位まで。(ただし、前条により認定された単位数と合わせて30単位を超えないものとする。)

なお、この認定に関して問題が生じた時は、教務委員会において協議する。

第20条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は教授会の決定するところによる。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年10月24日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 この規程のうち、別表第3については、令和5年度入学生から適用し、令和4年度以前に入学した者は、なお従前の例による。
- 3 令和4年度以前に入学した者が、この規程のうち別表第1及び別表第2に掲げる共通科目を履修する場合の取扱いについては、別に定める。

附 則

- 1 この規程は、令和7年4月1日から施行する。
- 2 この規程のうち、別表第3については、令和7年度入学生から適用し、令和6年度以前に入学した者は、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和8年4月1日から施行する。
- 2 この規程のうち、別表第1及び別表第2に掲げる科目を履修する場合の取扱いについては、令和8年度入学生から適用し、令和7年度以前に入学した者は、なお従前の例による。

5 履修規程別表

別表第1 美術科・デザイン科・工芸科 選択・必修科目

74単位

全学共通教養科目(基礎講義科目)

区分	授 業 科 目								必修 単位数	自由選択 単位数
	芸 術 の 世 界	単位数	人 文 科 学 の 世 界	単位数	自 然 科 学 の 世 界	単位数	社 会 科 学 の 世 界	単位数		
基礎講義科目	デザイン概説	2	文芸学	2	宇宙と物質の科学	2	ダイバーシティとインクルージョン	2	各グループから2単位	美術学部科目と合わせて46単位
	デザイン論	2	文学概論	2	情報科学	2	コミュニケーション論	2		
	美術学	2	比較文芸論	2	環境科学	2	メディア学	2		
	日本絵画史概説	2	ことばの科学入門	2	科学技術と社会	2	環境生態学	2		
	日本彫刻史概説	2	歴史学	2	化学 I	2	社会科学の方法論	2		
	東洋美術史概説 I	2	地域文化史 I	2	化学 II	2	芸大生のための法律・ソーシャルメディア入門	2		
	東洋美術史概説 II	2	地域文化史 II	2	生物科学 I	2	経済学 I	2		
	東洋美術史概説 III	2	地域文化史 III	2	生物科学 II	2	経済学 II	2		
	西洋美術史概説 I	2	地域文化史 IV	2	心理学 I	2	社会学 I	2		
	西洋美術史概説 II	2	考古学	2	心理学 II	2	社会学 II	2		
	音楽文化論 I	2	哲学 I	2	造形心理学	2	社会学 III	2		
	音楽文化論 II	2	哲学 II	2	実験心理学	2	社会学 III	2		
	音楽文化論 III	2	現代思想 I	2	健康科学	2	文化人類学 I	2		
	音楽文化論	2	現代思想 II	2	身体科学	2	文化人類学 II	2		
							異文化理解と実践入門	2		

美術学部学科目(特殊講義科目)

区分	授 業 科 目						必修 単位数	自由選択 単位数
	芸 術 文 化 系 列	単位数	芸 術 科 学 系 列	単位数	芸 術 学 ・ 美 術 史 系 列	単位数		
特殊講義科目	人 間 学	2	宇 宙 の 科 学	2	工 芸 概 説	2	8	全学共通教養科目と合わせて 46 単位
	哲 学 特 論 1	2	物 理 の 世 界	2	芸 術 学 1	2		
	哲 学 特 論 2	2	プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門	2	芸 術 学 2	2		
	原 典 資 料 研 究	2	数 学 の 世 界	2	現 代 芸 術 論 1	2		
	都 市 計 画 論	2	図 学 の 学 1	2	現 代 芸 術 論 2	2		
	環 境 設 計 論	2	図 学 の 学 2	2	現 代 芸 術 論 3	2		
	映 像 論 1	2	材 料 の 科 学	2	現 代 芸 術 論 4	2		
	映 像 論 2	2	材 料 科 学 1	2	日 本 美 術 史 (絵 画) 1	2		
	造 園 学 1	2	材 料 科 学 2	2	日 本 美 術 史 (絵 画) 2	2		
	造 園 学 2	2	材 料 科 学 3	2	日 本 美 術 史 (絵 画) 3	2		
	ア ー ト マ ネ ー ジ ム ン ト 論	2	材 料 科 学 4	2	日 本 美 術 史 (彫 刻)	2		
	造 形 計 画 1 ー A	2	材 料 科 学 5	2	東 洋 美 術 史 1	2		
	造 形 計 画 1 ー B	2	材 料 科 学 6	2	東 洋 美 術 史 2	2		
	造 形 計 画 2 ー A	2	美 術 解 剖 学	2	西 洋 美 術 史 1	2		
	造 形 計 画 2 ー B	2	製 陶 陶 法 1	2	西 洋 美 術 史 2	2		
	ク リ エ イ タ ー の た め の 知 的 財 産 入 門	2	製 陶 陶 法 2	2	彫 刻 史 1	2		
	社 会 科 学 特 論	2	塗 料 塗 装 法 1	2	彫 刻 史 2	2		
			塗 料 塗 装 法 2	2	美 術 史 特 講 1	2		
			人 間 工 学	2	美 術 史 特 講 2	2		
			印 刷 工 学	2	デ ザ イ ン 史 特 論	2		
			メ カ ニ ズ ム 論	2	色 彩 学	2		
			メ 色 染 織 工 芸 材 料 学	2	陶 磁 器 工 芸 史 1	2		
			染 織 工 芸 材 料 学	2	陶 磁 器 工 芸 史 2	2		
			構 造 力 学	2	染 織 工 芸 史 1	2		
			建 築 法	2	染 織 工 芸 史 2	2		
			保 存 科 学 入 門	2	漆 工 史 1	2		
			数 理 社 会 分 析 1	2	漆 工 史 2	2		
			数 理 社 会 分 析 2	2	建 築 史 1	2		
					建 築 史 2	2		
					日 本 美 術 史 演 習 1	2		
					日 本 美 術 史 演 習 2	2		
					現 代 美 術 批 評 1	2		
					現 代 美 術 批 評 2	2		
テーマ演習 科 目	テーマ演習						2	

美術学部学科目(共通科目・外国語科目・保健体育科目)

区分	授 業 科 目	単位数	必修 単位数	自由選択 単位数
共通科目	コンピュータ演習A-1(絵画・映像メディア表現を含む)	1	0	全学 共通教養科目と合わせて 46 単位
	コンピュータ演習A-1(デザイン・映像メディア表現を含む)	1		
	コンピュータ演習A-2(絵画・映像メディア表現を含む)	1		
	コンピュータ演習A-2(デザイン・映像メディア表現を含む)	1		
	コンピュータ演習B-1(絵画・映像メディア表現を含む)	1		
	コンピュータ演習B-1(デザイン・映像メディア表現を含む)	1		
	コンピュータ演習B-2(絵画・映像メディア表現を含む)	1		
	コンピュータ演習B-2(デザイン・映像メディア表現を含む)	1		
	コンピュータ演習B-3(絵画・映像メディア表現を含む)	1		
	コンピュータ演習B-3(デザイン・映像メディア表現を含む)	1		
	コンピュータ演習B-4(絵画・映像メディア表現を含む)	1		
	コンピュータ演習B-4(デザイン・映像メディア表現を含む)	1		
	コンピュータ演習C	2		
	コンピュータ演習D	2		
	コンピュータ演習E	2		
外国語科目	Academic English 1 (AE1) - A1	2	8	
	Academic English 1 (AE1) - A2	2		
	Academic English 1 (AE1) - A3	2		
	Academic English 1 (AE1) - B1	2		
	Academic English 1 (AE1) - B2	2		
	Academic English 1 (AE1) - B3	2		
	Academic English 2 (AE2) - A1	1		
	Academic English 2 (AE2) - A2	1		
	Academic English 2 (AE2) - B1	1		
	Academic English 2 (AE2) - B2	1		
	Intensive English Conversation (IEC) - A1	1		
	Intensive English Conversation (IEC) - A2	1		
	Intensive English Conversation (IEC) - B1	1		
	Intensive English Conversation (IEC) - B2	1		
	Intensive English Writing (IEW) - A1	1		
	Intensive English Writing (IEW) - A2	1		
	Intensive English Writing (IEW) - B1	1		
	Intensive English Writing (IEW) - B2	1		
	フ ラ ン ス 語 (初 級) A-1	2		
	フ ラ ン ス 語 (初 級) A-2	2		
	フ ラ ン ス 語 (初 級) B-1	2		
	フ ラ ン ス 語 (初 級) B-2	2		
	フ ラ ン ス 語 (中 ・ 上 級) A	2		
	フ ラ ン ス 語 (中 ・ 上 級) B	2		
	ド イ ツ 語 (初 級) A	2		
	ド イ ツ 語 (初 級) B	2		
	ド イ ツ 語 (中 級) A	2		
	ド イ ツ 語 (中 級) B	2		
保健体育科目	体 育 1-A(基礎体育)	1	2	
	体 育 1-B(基礎体育)	1		
	体 育 1-C(基礎体育)	1		
	体 育 1-D(基礎体育)	1		
	体 育 1-E(基礎体育)	1		
	体 育 1-F(基礎体育)	1		
	体 育 1-G(基礎体育)	1		
	体 育 1-H(基礎体育)	1		
	体 育 1-I(基礎体育)	1		
	体 育 1-J(基礎体育)	1		
	体 育 1-K(基礎体育)	1		
	体 育 2-a(応用体育)	1		0
	体 育 2-b(応用体育)	1		

(備考)

1. 卒業までに基礎講義科目を各グループから2単位（合計8単位）、特殊講義科目を8単位選択必修する。
2. 基礎講義科目は重複して履修することができないが、特殊講義科目は2回まで履修することができる。
 受講登録は、1年次から2年次において1セメスター24単位、3年次から4年次において1セメスター28単位を上限とする。上限単位数の対象となる授業科目は本学において卒業の要件として履修する学科目（基礎講義科目、特殊講義科目、テーマ演習科目、共通科目、外国語科目及び保健体育科目）、実技科目及び単位互換科目とする。
 ただし、卒業要件科目であっても、集中講義として開講する科目は上限単位数の対象科目とはしない。
3. テーマ演習は2単位必修であるが、どの科目を履修しても構わない。
4. テーマ演習は最高8単位まで履修ことができ、同一科目を重複履修することができる。
5. テーマ演習科目の履修は3年次以上とする。
6. 人数制限をする科目があるので注意すること（特に外国語科目及び共通科目のコンピュータ演習は、登録方法に注意すること）。
7. 実技科目6単位まで学科目の自由選択科目とみなすことができる。
8. 共通科目のコンピュータ演習A-1、A-2は、いずれか1科目しか履修できない。またB-1、B-2、B-3からは、いずれか1科目しか履修できない。
 コンピュータ演習C及びDは、A-1からB-4のいずれかを履修済みであることが望ましい。
 コンピュータ演習Eはコンピュータ演習Dを履修済みであることが望ましい。
9. 外国語1カ国語を履修する場合は、最高16単位までとする。
10. 外国語2カ国語又は3カ国語を履修する場合は、最高20単位までとする。
11. その他、外国語科目の履修方法については、下記のとおりである。

科 目 名	履修年次	制 限 等	そ の 他
Academic English 1 (AE1)－ A1・A2・A3・B1・B2・B3	1 年次中心	原則A・Bを連続履修すること。	重複履修不可
Academic English 2 (AE2)－ A1・A2・B1・B2	2 年次以上	AE1科目から2単位以上修得済みの場合に履修できる。	重複履修可
Intensive English Conversation (IEC)－ A1・A2・B1・B2	1 年次以上	同一学期内にIECとIEWの並行履修は原則としてできない。	
Intensive English Writing (IEW)－ A1・A2・B1・B2	2 年次以上		
フランス語(初級)A－1・2	1 年次以上	フランス語AかB（令和5年度以前の入学者はフランス語1か2）のどちらかしか履修できない。 後期は前期の単位修得者が履修できる。	重複履修不可
フランス語(初級)B－1・2	1 年次以上		
フランス語(中・上級)A・B	原則として 2 年次以上	特に担当教員が認めた場合を除き、フランス語(初級)の前期・後期両科目の単位を修得済であることを履修条件とする。BはAの単位修得者が履修できる。	重複履修可
ドイツ語（初級）A・B	1 年次以上	BはAの単位修得者が履修できる。	重複履修不可
ドイツ語（中級）A・B	原則として 2 年次以上	特に担当教員が認めた場合を除き、初級のA・B両科目の単位を修得済であることを履修条件とする。BはAの単位修得者が履修できる。	重複履修可

12. 体育1は1年次必修(2単位)。AとB、CとD、EとF、G又はIとHの組み合わせで連続履修すること。重複履修は不可。
13. 体育1-J、体育1-Kは担当教員に認められた場合に限り、履修することができる。
14. 体育2-a(前期)、2-b(後期)は2回生以上が履修対象で、2度まで履修することができる。
15. 学科目は、74単位を卒業必要単位とする。
16. 各専攻の指定する必修科目及び履修が望ましいとする科目は次のとおりである。

専攻指定科目一覧表			
専攻	必修科目		履修することが望ましい科目
	科目名	単位数	科目名
日本画	なし	0	日本絵画史概説 日本彫刻史概説 東洋美術史概説Ⅰ・Ⅱ 西洋美術史概説Ⅰ・Ⅱ 日本美術史（絵画）1・2 日本美術史（彫刻） 日本美術史演習1・2
油画	なし	0	日本絵画史概説 西洋美術史概説Ⅰ・Ⅱ 現代芸術論1・3 西洋美術史1・2 美術史特講1・2 現代美術批評1・2
彫刻	なし	0	美術学 日本絵画史概説 日本彫刻史概説 現代芸術論1・2・3・4 日本美術史（彫刻） 彫刻史1・2 日本美術史演習1・2
版画	なし	0	美術学 日本絵画史概説 西洋美術史概説Ⅰ・Ⅱ
構想設計	なし	0	情報科学Ⅱ 社会学Ⅱ 哲学特論1・2 映像論1・2 芸術学1・2 現代美術批評1
総合デザイン	なし	0	デザイン史概説 デザイン論 社会科学の方法論 都市計画論 環境設計論 造園学1・2 社会科学特論 図学1・2 材料の科学 材料学5（木材） 印刷工学 造力学 建築法規 建築史1・2 ※自身の興味や専門性に合わせて上記からいくつか履修することが望ましい。
デザインB	なし	0	デザイン史概説 デザイン論 環境設計論 人間工学 メカニズム論 デザイン史特論

専攻指定科目一覧表			
専攻	必修科目		履修することが望ましい科目
	科目名	単位数	科目名
陶磁器	工芸概説	2	美学
	陶磁器工芸史 1・2	各2	デザイン史概説
	製陶法 1・2	各2	日本絵画史概説
漆工	工芸概説	2	彫刻史 1・2
	漆工史 1・2	各2	日本絵画史概説
			塗料塗装法 1・2
染織	工芸概説	2	材料学 5（木材）
	染織工芸史 1・2	各2	
	色染学	2	デザイン史概説
	染織工芸材料学	2	日本美術史演習 1・2

注) 漆工専攻の「漆工史 1・2」は 2 年次での履修が望ましい。

別表第2 総合芸術学科選択・必修科目

60単位

全学共通教養科目(基礎講義科目)

区分	授 業 科 目								必修 単位数	自由選択 単位数
	芸 術 の 世 界	単位数	人 文 科 学 の 世 界	単位数	自 然 科 学 の 世 界	単位数	社 会 科 学 の 世 界	単位数		
基礎講義科目	デザイン史概説	2	文芸学	2	宇宙と物質の科学	2	ダイバーシティとインクルージョン	2	各グループから2単位	美術学部学科目と合わせて 12単位
	デザイン論	2	文学概論	2	情報科学	2	コミュニケーション論	2		
	美学	2	比較文芸論	2	環境科学	2	メディア学	2		
	日本絵画史概説	2	ことばの科学入門	2	科学技術と社会	2	環境生態学	2		
	日本彫刻史概説	2	歴史学	2	化学Ⅰ	2	社会科学の方法論	2		
	東洋美術史概説Ⅰ	2	地域文化史Ⅰ	2	化学Ⅱ	2	社会科学のための法律・ソーシャルメディア入門	2		
	東洋美術史概説Ⅱ	2	地域文化史Ⅱ	2	生物科学Ⅰ	2	経済学Ⅰ	2		
	西洋美術史概説Ⅰ	2	地域文化史Ⅲ	2	生物科学Ⅱ	2	経済学Ⅱ	2		
	西洋美術史概説Ⅱ	2	地域文化史Ⅳ	2	心理科学Ⅰ	2	経済学Ⅲ	2		
	音楽文化論Ⅰ	2	考古学Ⅰ	2	心理科学Ⅱ	2	社会学Ⅰ	2		
	音楽文化論Ⅱ	2	哲学Ⅰ	2	造形心理科学	2	社会学Ⅱ	2		
	音楽文化論Ⅲ	2	哲学Ⅱ	2	実験心理科学	2	社会学Ⅲ	2		
	音楽文化論Ⅳ	2	現代思想Ⅰ	2	健康科学	2	文化人類学Ⅰ	2		
	音楽文化論Ⅴ	2	現代思想Ⅱ	2	身体科学	2	文化人類学Ⅱ	2		
	音楽文化論Ⅵ	2					文化人類学Ⅲ	2		
	音楽文化論Ⅶ	2					文化人類学Ⅳ	2		
	音楽文化論Ⅷ	2					文化人類学Ⅴ	2		

美術学部学科目(特殊講義科目)

区分		授 業 科 目						必修 単位数	自由選択 単位数
		芸 術 文 化 系 列	単位数	芸 術 科 学 系 列	単位数	芸 術 学 ・ 美 術 史 系 列	単位数		
特殊講義科目	人間学	2	宇宙の科学	2	工芸概説	2	16	全学共通教養科目と合わせて 12 単位	
	哲学特論 1	2	物理の世界	2	芸術学 1	2			
	哲学特論 2	2	プログラミング入門	2	芸術学 2	2			
	原典資料研究	2	数学の世界	2	現代芸術論 1	2			
	都市計画論	2	図学の科学 1	2	現代芸術論 2	2			
	環境設計論	2	図学の科学 2	2	現代芸術論 3	2			
	映像像論 1	2	材料の科学	2	現代芸術論 4	2			
	映像像論 2	2	材料科学 1	2	日本美術史(絵画) 1	2			
	造園学 1	2	材料科学 2	2	日本美術史(絵画) 2	2			
	造園学 2	2	材料科学 3	2	日本美術史(絵画) 3	2			
	アートマネジメント論	2	材料科学 4	2	日本美術史(彫刻)	2			
	造形計画 1ー A	2	材料科学 5	2	東洋美術史 1	2			
	造形計画 1ー B	2	材料科学 6	2	東洋美術史 2	2			
	造形計画 2ー A	2	美術解剖学	2	西洋美術史 1	2			
	造形計画 2ー B	2	製陶陶法 1	2	西洋美術史 2	2			
	クリエイターのための知的財産入門	2	製陶陶法 2	2	彫刻史 1	2			
	社会科学特論	2	塗料塗装法 1	2	彫刻史 2	2			
			塗料塗装法 2	2	美術史特講 1	2			
			人間工学	2	美術史特講 2	2			
			印刷工学	2	デザイン史特論	2			
			メカニズム論	2	色彩学	2			
			色染織工芸材料学	2	陶磁器工芸史 1	2			
			構造力学	2	陶磁器工芸史 2	2			
			建築法規	2	染織工芸史 1	2			
			保存科学入門	2	染織工芸史 2	2			
			数理社会分析 1	2	漆工史 1	2			
			数理社会分析 2	2	漆工史 2	2			
					建築史 1	2			
					建築史 2	2			
					現代美術批評 1	2			
					現代美術批評 2	2			
					日本美術史演習 1	2	必修 4		
					日本美術史演習 2	2			
テーマ演習科目	テーマ演習							2	

美術学部学科目(共通科目・外国語科目・保健体育科目)

区分	授 業 科 目	単位数	必修 単位数	自由選択 単位数	
共通科目	コンピュータ演習A-1(絵画・映像メディア表現を含む)	1	0	全学共通教養科目と合わせて 12 単位	
	コンピュータ演習A-1(デザイン・映像メディア表現を含む)	1			
	コンピュータ演習A-2(絵画・映像メディア表現を含む)	1			
	コンピュータ演習A-2(デザイン・映像メディア表現を含む)	1			
	コンピュータ演習B-1(絵画・映像メディア表現を含む)	1			
	コンピュータ演習B-1(デザイン・映像メディア表現を含む)	1			
	コンピュータ演習B-2(絵画・映像メディア表現を含む)	1			
	コンピュータ演習B-2(デザイン・映像メディア表現を含む)	1			
	コンピュータ演習B-3(絵画・映像メディア表現を含む)	1			
	コンピュータ演習B-3(デザイン・映像メディア表現を含む)	1			
	コンピュータ演習B-4(絵画・映像メディア表現を含む)	1			
	コンピュータ演習B-4(デザイン・映像メディア表現を含む)	1			
	コンピュータ演習C	2			
	コンピュータ演習D	2			
	コンピュータ演習E	2			
外国語科目	Academic English 1 (AE1) - A1	2	第1外国語 8～ 第2外国語 4～ 自由選択 第3外国語 4～ 計16		
	Academic English 1 (AE1) - A2	2			
	Academic English 1 (AE1) - A3	2			
	Academic English 1 (AE1) - B1	2			
	Academic English 1 (AE1) - B2	2			
	Academic English 1 (AE1) - B3	2			
	Academic English 2 (AE2) - A1	1			
	Academic English 2 (AE2) - A2	1			
	Academic English 2 (AE2) - B1	1			
	Academic English 2 (AE2) - B2	1			
	Intensive English Conversation (IEC) - A1	1			
	Intensive English Conversation (IEC) - A2	1			
	Intensive English Conversation (IEC) - B1	1			
	Intensive English Conversation (IEC) - B2	1			
	Intensive English Writing (IEW) - A1	1			
	Intensive English Writing (IEW) - A2	1			
	Intensive English Writing (IEW) - B1	1			
	Intensive English Writing (IEW) - B2	1			
	フ ラ ン ス 語 (初 級) A-1	2			
	フ ラ ン ス 語 (初 級) A-2	2			
	フ ラ ン ス 語 (初 級) B-1	2			
	フ ラ ン ス 語 (初 級) B-2	2			
	フ ラ ン ス 語 (中 ・ 上 級) A	2			
	フ ラ ン ス 語 (中 ・ 上 級) B	2			
	ド イ ツ 語 (初 級) A	2			
	ド イ ツ 語 (初 級) B	2			
	ド イ ツ 語 (中 級) A	2			
	ド イ ツ 語 (中 級) B	2			
保健体育科目	体 育 1-A(基礎体育)	1	2		
	体 育 1-B(基礎体育)	1			
	体 育 1-C(基礎体育)	1			
	体 育 1-D(基礎体育)	1			
	体 育 1-E(基礎体育)	1			
	体 育 1-F(基礎体育)	1			
	体 育 1-G(基礎体育)	1			
	体 育 1-H(基礎体育)	1			
	体 育 1-I(基礎体育)	1			
	体 育 1-J(基礎体育)	1			
	体 育 1-K(基礎体育)	1			
	体 育 2-a(応用体育)	1			0
	体 育 2-b(応用体育)	1			

(備考)

- 卒業までに基礎講義科目を各グループから2単位（合計8単位）、特殊講義科目を16単位選択必修する。
- 基礎講義科目は重複して履修することができないが、特殊講義科目は2回まで履修することができる。
- 日本美術史演習1・2は必修とする。
- 受講登録は、1年次から2年次において1セメスター24単位、3年次から4年次において1セメスター28単位を上限とする。上限単位数の対象となる授業科目は本学において卒業の要件として履修する学科目（基礎講義科目、特殊講義科目、テーマ演習科目、共通科目、外国語科目及び保健体育科目）、実技科目及び単位互換科目とする。ただし、卒業要件科目であっても集中講義として開講する科目は、上限単位数の対象科目とはしない。
また、総合芸術学科演習科目についても上限単位数の対象科目とはしない。
- テーマ演習は2単位必修であるが、どの科目を履修しても構わない。
- テーマ演習は、最高8単位まで履修ことができ、同一科目を重複履修することができる。
- テーマ演習科目の履修は3年次以上とする。
- 人数制限をする科目があるので注意すること（特に外国語科目及び共通科目のコンピュータ演習は、登録方法に注意すること）。
- 共通科目のコンピュータ演習A-1、A-2は、いずれか1科目しか履修できない。またB-1、B-2、B-3からは、いずれか1科目しか履修できない。
コンピュータ演習C及びDは、A-1からB-4のいずれかを履修済みであることが望ましい。
コンピュータ演習Eはコンピュータ演習Dを履修済みであることが望ましい。
- 第1外国語は8単位以上、第2外国語は4単位以上とし、合計16単位を必修とする（第3外国語も可）。
ただし、最高20単位までとする。外国語科目については、人数制限があるが、総合芸術学科の学生を優先する。
- その他、外国語科目の履修方法については、下記のとおりである。

科 目 名	履修年次	制 限 等	そ の 他
Academic English 1 (AE1)- A1・A2・A3・B1・B2・B3	1年次中心	原則A・Bを連続履修すること。	重複履修不可
Academic English 2 (AE2)- A1・A2・B1・B2	2年次以上	AE1科目から2単位以上修得済みの場合に履修できる。	重複履修可
Intensive English Conversation (IEC) - A1・A2・B1・B2	1年次以上	なし	
Intensive English Writing (IEW)- A1・A2・B1・B2	2年次以上	なし	
フランス語(初級)A-1・2	1年次以上	フランス語AかB（令和5年度以前の入学者はフランス語1か2）のどちらかしか履修できない。後期は前期の単位修得者が履修できる。	重複履修不可
フランス語(初級)B-1・2	1年次以上		
フランス語(中・上級)A・B	原則として 2年次以上	特に担当教員が認めた場合を除き、フランス語(初級)の前期・後期両科目の単位を修得済であることを履修条件とする。BはAの単位修得者が履修できる。	重複履修可
ドイツ語(初級)A・B	1年次以上	BはAの単位修得者が履修できる。	重複履修不可
ドイツ語(中級)A・B	原則として 2年次以上	特に担当教員が認めた場合を除き、初級のA・B両科目の単位を修得済であることを履修条件とする。BはAの単位修得者が履修できる。	重複履修可

- 体育1は1年次必修（2単位）。AとB、CとD、EとF、G又はIとHの組み合わせで連続履修すること。重複履修は不可。
- 体育1-J、体育1-Kは担当教員に認められた場合に限り、履修することができる。
- 体育2-a（前期）、2-b（後期）は2回生以上が履修対象で、2度まで履修することができる。
- 学科科目60単位に総合芸術学科が指定する科目66単位を合計した126単位を卒業必要単位とする。

別表第3 実技科目及び演習科目

(1) 美術科

① 日本画専攻

区 分	授 業 科 目	備 考	期 間	科 目 単 位	必 修 単 位
共 通 基 礎	総 合 基 礎 実 技 (絵 画)	1年次の前期に必修	半年	2	8
	(彫 刻)			2	
	(デ ザ イ ン)			2	
	(工 芸)			2	
美 術 科 基 礎	美術科基礎科目から 選択	「日本画A」 「日本画B」 両方の履修が望ましい。	半年	8	16
			半年	8	
日 本 画 専 攻 実 技	日 本 画 C	「日本画C」の 修得者に限る。	各半年	各6	24
	日 本 画 1 ・ 模 写				
	日 本 画 2				
	日 本 画 3				
	卒 業 制 作			2	2
計					50

- 注 1. 美術科基礎科目については、「日本画A」「日本画B」のいずれか又は両方を履修することとする。ただし、「日本画A」「日本画B」両方の履修が望ましい。
2. 「日本画1・模写」「日本画2」及び「日本画3」を履修するためには、「日本画A」(8単位)「日本画B」(8単位)のいずれか又は両方及び「日本画C」(6単位)の合計14単位又は22単位を履修すること。
3. 基礎科目及び「日本画C」以外は、同一科目を何度も重複して履修することができる。
4. 専攻実技必修単位24単位中6単位までは、科内の他の専攻で実技を履修した単位を含むことができる。

卒業必要単位数：学科74単位＋実技50単位＝合計124単位

② 油画専攻

区 分	授 業 科 目	備 考	期 間	科 目 単 位	必 修 単 位
共 通 基 礎	総 合 基 礎 実 技 (絵 画)	1年次の前期に必修	半年	2	8
	(彫 刻)			2	
	(デ ザ イ ン)			2	
	(工 芸)			2	
美 術 科 基 礎	美 術 科 基 礎 科 目 か ら 選 択	「油画A」 「油画B」 のいずれかを履修	半年	8	16
			半年	8	
油 画 専 攻 実 技	油 画 1 ・ 壁 画		各半年	各6	24
	油 画 2				
	油 画 3				
	卒 業 制 作			2	2
計					50

- 注 1. 美術科基礎科目については、「油画A」「油画B」のいずれかを履修することとする。（両方でもよい。）
2. 基礎科目以外は、同一科目を何度も重複して履修することができる。
3. 専攻実技必修単位24単位中6単位までは、科内の他の専攻で実技を履修した単位を含むことができる。

卒業必要単位数：学科74単位＋実技50単位＝合計124単位

③ 彫刻専攻

区 分	授 業 科 目	備 考	期 間	科目 単位	必修 単位
共 通 基 礎	総 合 基 礎 実 技 (絵 画)	1年次の前期に必修	半年	2	8
	(彫 刻)			2	
	(デ ザ イ ン)			2	
	(工 芸)			2	
美 術 科 基 礎	美 術 科 基 礎 科 目 か ら 選 択	「彫刻A」 「彫刻B」 のいずれかを履修	半年	8	16
			半年	8	
彫 刻 専 攻 実 技	彫 刻 1		各半年	各6	24
	彫 刻 2				
	彫 刻 3				
	卒 業 制 作			2	2
計					50

- 注 1. 美術科基礎科目については、「彫刻A」「彫刻B」のいずれかを履修することとする。(両方でもよい。)
2. 「彫刻1・2・3」は、何度も重複して履修することができる。ただし、卒業時まで1・2両方を履修する必要がある。
3. 専攻実技必修単位24単位中6単位までは、科内の他の専攻で実技を履修した単位を含むことができる。

卒業必要単位数：学科74単位＋実技50単位＝合計124単位

④ 版画専攻

区 分	授 業 科 目	備 考	期 間	科 目 単 位	必 修 単 位
共 通 基 礎	総 合 基 礎 実 技 (絵 画)	1年次の前期に必修	半年	2	8
	(彫 刻)			2	
	(デ ザ イ ン)			2	
	(工 芸)			2	
美 術 科 基 礎	美 術 科 基 礎 科 目 か ら 選 択	「版画A」 「版画B」 のいずれかを履修	半年	8	16
			半年	8	
版 画 専 攻 実 技	版 画 制 作		各半年	各6	24
	卒 業 制 作			2	2
計					50

- 注 1. 美術科基礎科目については、「版画A」「版画B」のどちらか又は両方を履修することとする。
2. 基礎科目以外は、同一科目を何度も重複して履修することができる。
3. 専攻実技必修単位24単位中6単位までは、科内の他の専攻で実技を履修した単位を含むことができる。

卒業必要単位数：学科74単位＋実技50単位＝合計124単位

⑤ 構想設計専攻

区 分	授 業 科 目	備 考	期 間	科目 単位	必修 単位
共 通 基 礎	総 合 基 礎 実 技 (絵 画)	1年次の前期に必修	半年	2	8
	(彫 刻)			2	
	(デ ザ イ ン)			2	
	(工 芸)			2	
美 術 科 基 礎	美 術 科 基 礎 科 目 か ら 選 択	「構想設計A」 「構想設計B」 のいずれかを 履修することが望ましい。	半年	8	16
			半年	8	
構 想 設 計 専 攻 実 技	構 想 設 計		各半年	各6	24
	卒 業 制 作			2	2
計					50

- 注 1. 美術科基礎科目については、「構想設計A」「構想設計B」のいずれかを履修することが望ましい。
ただし、構想設計の基礎科目を履修していなくても、専攻に進むことができる。
2. 基礎科目以外は、同一科目を何度も重複して履修することができる。
3. 専攻実技必修単位24単位中6単位までは、科内の他の専攻で実技を履修した単位を含むことができる。

卒業必要単位数：学科74単位＋実技50単位＝合計124単位

美術科基礎科目

授 業 科 目				科目単位
日	本	画	A	8
日	本	画	B	8
油		画	A	8
油		画	B	8
彫	刻	A	(デッサン)	2
彫	刻	A	(彫 刻)	6
彫	刻	B	(工芸・プロダクト制作を含む・彫刻)	8
版	画	A	(絵画・映像メディア表現を含む)	1
版	画	A	(デザイン・映像メディア表現を含む)	1
版	画	A	(版 画)	6
版	画	B	(絵画・映像メディア表現を含む)	1
版	画	B	(デザイン・映像メディア表現を含む)	1
版	画	B	(版 画)	6
構	想	設	計 A (絵画・映像メディア表現を含む)	1
構	想	設	計 A (デザイン・映像メディア表現を含む)	1
構	想	設	計 A (彫 刻)	2
構	想	設	計 A (構想設計)	4
構	想	設	計 B (絵画・映像メディア表現を含む)	1
構	想	設	計 B (デザイン・映像メディア表現を含む)	1
構	想	設	計 B (彫 刻)	2
構	想	設	計 B (構想設計)	4

(2) デザイン科

① 総合デザイン専攻

区 分	授 業 科 目	備 考	期 間	科目 単位	必修 単位
共通基礎	総 合 基 礎 実 技 (絵 画) (彫 刻) (デ ザ イ ン) (工 芸)	1年次の前期に必修	半 年	2	8
	2				
	2				
	2				
デザイン科 基礎	デ ザ イ ン 基 礎 (絵画・映像メディア表現を含む) (デザイン・映像メディア表現を含む)	後 期	半 年	2 6	8
	総 合 デ ザ イ ン 基 礎 1 (デ ッ サ ン) (製 図) (工芸・プロダクト制作を含む) (デ ザ イ ン)	前 期 「デザイン基礎」 の修得者に限る。	半 年	1 1 1 5	8
	総 合 デ ザ イ ン 基 礎 2 (デ ッ サ ン) (製 図) (工芸・プロダクト制作を含む) (デ ザ イ ン)	後 期	半 年	1 1 1 5	8
	総 合 デ ザ イ ン 1 総 合 デ ザ イ ン 2	「総合デザイン1」 の修得者に限る。	各半年	各6	18
	卒 業 制 作				
	計				

注 1. 「総合デザイン基礎1」「総合デザイン基礎2」については、「デザインB (xyz-1)」「デザインB (xyz-2)」を履修してもよい。

2. 基礎科目以外は、同一科目を何度も重複して履修することができる。

3. 専攻実技必修単位18単位中6単位までは、科内の他の専攻で実技を履修した単位を含むことができる。

卒業必要単位数：学科74単位＋実技52単位＝合計126単位

② デザインB専攻

区 分	授 業 科 目	備 考	期間	科目 単位	必修 単位
共通基礎	総 合 基 礎 実 技	1年次の前期に必修	半 年		8
	(絵 画)			2	
	(彫 刻)			2	
	(デ ザ イ ン)			2	
デザイン科 基礎	(工 芸)	後 期	半 年	2	8
	デ ザ イ ン 基 礎 (絵 画 ・ 映 像 メ デ ィ ア 表 現 を 含 む) (デ ザ イ ン ・ 映 像 メ デ ィ ア 表 現 を 含 む)			6	
	デ ザ イ ン B (xyz-1) (デ ッ サ ン) (製 図) (工 芸 ・ プ ロ ダ ク ト 制 作 を 含 む) (デ ザ イ ン)	前期 「デザイン基礎」の 修得者に限る。	半 年	1	8
				1	
				1	
				5	
	デ ザ イ ン B (xyz-2) (デ ッ サ ン) (製 図) (工 芸 ・ プ ロ ダ ク ト 制 作 を 含 む) (デ ザ イ ン)	後 期	半 年	1	8
				1	
				1	
				5	
デザインB 専攻実技	デ ザ イ ン B (X) デ ザ イ ン B (Y) デ ザ イ ン B (Z)		各半年	各2	18
	卒 業 制 作				
	計			2	2
					52

注 1 . 「デザインB (xyz-1)」「デザインB (xyz-2)」については、総合デザイン専攻の提供する「総合デザイン基礎1」「総合デザイン基礎2」を履修してもよい。

2 . 基礎科目以外は、同一科目を何度も重複して履修することができる。

3 . 「デザインB (X)」、「デザインB (Y)」及び「デザインB (Z)」は同時履修することができる。

4 . 専攻実技必修単位18単位中6単位までは、科内の他の専攻で実技を履修した単位を含むことができる。

卒業必要単位数：学科74単位＋実技52単位＝合計126単位

(3) 工芸科

① 陶磁器専攻

区 分	授 業 科 目	備 考	期 間	科 目 単 位	必修 単 位
共 通 基 礎	総 合 基 礎 実 技 (絵 画) (彫 刻) (デ ザ イ ン) (工 芸)	1 年次の前期に 必修	半 年	2 2 2 2	8
	工 芸 基 礎 (デ ザ イ ン) (工 芸)			2 6	
陶 磁 器 専 攻 実 技	陶 磁 器 基 礎 A (デ ッ サ ン) (デ ザ イ ン) (陶 磁 器)	前 期 「工芸基礎」の 修得者に限る。	半 年	1 1 6	8
	陶 磁 器 基 礎 B (デ ッ サ ン) (デ ザ イ ン) (陶磁器・プロダクト制作を含む)	後 期 「陶磁器基礎A」の 修得者に限る。	半 年	1 1 6	8
	陶 磁 器 1	前 期 「陶磁器基礎B」の 修得者に限る。	半 年	各6	18
	陶 磁 器 2	後 期 「陶磁器1」の 修得者に限る。			
	陶 磁 器 3	「陶磁器2」の 修得者に限る。			
	卒 業 制 作			2	2
計					52

注 1. 「陶磁器基礎A」「陶磁器基礎B」を履修後、原則として「陶磁器1」、「陶磁器2」、「陶磁器3」の順に履修する。

2. 「陶磁器3」は重複して履修できる。

卒業必要単位数：学科74単位＋実技52単位＝合計126単位

② 漆工専攻

区 分	授 業 科 目	備 考	期 間	科 目 単 位	必 修 単 位
共 通 基 礎	総 合 基 礎 実 技	1年次の前期に 必修	半 年		8
	(絵 画)			2	
	(彫 刻)			2	
	(デ ザ イ ン)			2	
工 芸 基 礎	(工 芸)			2	
	工 芸 基 礎	後 期	半 年		8
	(デ ザ イ ン)			2	
	(工 芸)			6	
漆 工 専 攻 実 技	漆 工 基 礎 A	前 期	半 年		8
	(デ ッ サ ン)			1	
	(デ ザ イ ン)			1	
	(漆 工)			6	
	漆 工 基 礎 B	後 期	半 年		8
	(デ ッ サ ン)			1	
	(デ ザ イ ン)			1	
	(漆工・プロダクト制作を含む)			6	
	漆 工 1	「漆工基礎B」の 修得者に限る。	半 年	各6	18
	漆 工 2				
	卒 業 制 作			2	2
計					52

注 1. 基礎科目以外は、同一科目を何度も重複して履修することができる。

卒業必要単位数：学科74単位＋実技52単位＝合計126単位

③ 染織専攻

区 分	授 業 科 目	備 考	期 間	科目 単位	必修 単位
共 通 基 礎	総 合 基 礎 実 技 (絵 画)	1年次の前期に 必修	半 年	2	8
	(彫 刻)			2	
	(デ ザ イ ン)			2	
	(工 芸)			2	
工 芸 科 礎	工 芸 基 礎 (デ ザ イ ン)	後 期	半 年	2	8
	(工 芸)			6	
染 織 専 攻 実 基	染 織 基 礎 A (デ ッ サ ン) (デ ザ イ ン) (染 織)	前 期 「工芸基礎」の 修得者に限る。	半 年	1 1 6	8
	染 織 基 礎 B (デ ッ サ ン) (デ ザ イ ン) (染織・プロダクト制作を含む)	後 期 「染織基礎A」の 修得者に限る。	半 年	1 1 6	8
	染 織 1	前 期 「染織基礎B」の 修得者に限る。	半 年	各6	18
	染 織 2	後 期 「染織基礎B」の 修得者に限る。			
	染 織 3	「染織基礎B」の 修得者に限る。			
	卒 業 制 作			2	2
	計				52

注 1. 基礎科目以外は、同一科目を何度も重複して履修することができる。

卒業必要単位数：学科74単位＋実技52単位＝合計126単位

(4) 総合芸術学科

区 分	授 業 科 目	備 考	期 間	科目 単位	必修 単位	選択必修 単位	選択 単位
実 技 基 礎	総 合 基 礎 実 技 (絵 画) (彫 刻) (デ ザ イ ン) (工 芸)	1 年次の前期に 必修	半 年	2 2 2 2	8		
	美 術 科 基 礎 A デ ザ イ ン 基 礎 工 芸 基 礎	1 年次の後期に いずれかの基礎を 選択必修	後 期 後 期 後 期	8 8 8	8		
	総合芸術学科 基 礎	総 合 芸 術 学 科 基 礎 1 総 合 芸 術 学 科 基 礎 2	1 年次必修	前 期 後 期	1 1		
実 技	美 術 科 基 礎 B 総 合 デ ザ イ ン 基 礎 1 デ ザ イ ン B (xyz-1) 陶 磁 器 基 礎 A 漆 工 基 礎 A 染 織 基 礎 A	2 年次以上で選択	前 期 前 期 前 期 前 期 前 期 前 期	8 8 8 8 8 8			8
総合芸術学科 講 読	専門書講読 (英 語) 専門書講読 (フランス語) 専門書講読 (ド イ ツ 語) 専門書講読 (古文書・古筆)	2 年次以上で 選択必修 (2 科目以上履修 すること)	前期・後期	2 2 2 2	4	4	
総合芸術学科 基礎演習	調 査 研 究 基 礎 入 門	2 年次選択必修	前 期	2			
	調 査 研 究 基 礎 講 義 企 画 運 営 基 礎 演 習 1 企 画 運 営 基 礎 演 習 2 編 集 発 信 基 礎 演 習	2 年次必修	後 期 前 期 後 期 前 期	2 2 2 2	8		
	総合芸術学科 応用演習		調 査 研 究 応 用 A ・ B 企 画 運 営 応 用 演 習 A ・ B 編 集 発 信 応 用 演 習 A ・ B	3 ・ 4 年次必修で 重複履修	前期・後期	4 ・ 4 2 ・ 2	16 8
	卒 業 論 文		卒 業 論 文			8	8
計					62	4	0～8
					66		

- 注 1. 基礎科目以外は、同一科目を何度も重複して履修することができる。
2. 実技基礎の履修については、1年次前期に「総合基礎実技」を必修、1年次後期に実技基礎の中から8単位を選択必修とする。「総合芸術学科基礎実技」以外の実技の履修については、それぞれの専攻の履修方法に従うこと。
3. 「総合芸術学科基礎1」「総合芸術学科基礎2」は1年次必修、「企画運営基礎演習1」「編集発信基礎演習」は2年次前期必修、「調査研究基礎講義」「企画運営基礎演習2」は2年次後期必修とする。
4. 「専門書講読」は2年次以上で履修でき、4単位の選択必修とする。
5. 「調査研究基礎入門」は2年次選択必修とする。
6. 「調査研究応用A」「調査研究応用B」は、3・4年次必修で、重複履修すること。
「調査研究応用A」「調査研究応用B」は、それぞれ1ゼミ（芸術の歴史と理論）、2ゼミ（文化と感性の理論）、3ゼミ（芸術と社会）に分かれているので、一つを選んで登録すること。
7. 「企画運営応用演習A」「企画運営応用演習B」と「編集発信応用演習A」「編集発信応用演習B」は3・4年次必修で、いずれかの科目を選択すること（重複履修可）。

卒業必要単位数：学科60単位＋総合芸術学科指定科目66単位＝合計126単位
